

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.20

市職員の逝去を無かったことにしてはいけない

9月定例議会:一般質問 ひとりの市職員の逝去について

発言趣旨

令和6年8月20日、ひとりの市職員が逝去されました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。ひとりの市職員は、前日の夜までご家庭で普段と変わらない様子で過ごしておられました。その数時間後に自ら命を絶つという哀しい決断をされました。ご遺族は、その原因がどこにあるのか分からず、今も大変苦しんでおられます。

今定例会の一般質問では、ひとりの市職員の逝去を「無かったことにしてはいけない」という一心で議場に立ち、市に徹底的な調査を求めるとともに、メンタルヘルス診断の活用等による再発防止も含め、市の対応方針等の提言を行いました。

質問事項①

市職員の力を最大限に生かし、安全・安心かつ働き甲斐のある職場であること、それを確保することが市長として重要な使命であると私は考えています。その点からも、ひとりの市職員の逝去という事案は、これまでの市行政の中において、最も大きな出来事であることに間違いはないと考えますが、市長は今回の事案をどう捉えているのでしょうか。

市長の答弁 (一部)

市としてどうにかして防ぐことができなかったのか、無念の思いしかありません。この無念を深く胸に刻み、今後の職場づくりに生かしていくことが、自分の使命であると強く感じています。

質問事項②

私は、ひとりの市職員が逝去した事実を絶対に「無かったことにしてはいけない」と考えています。また、ご遺族は丁寧で真摯な内部調査、および可能な限り早い調査報告を求めておられますが、ご遺族の思いに市長はどう向き合っていくのでしょうか。

市長の答弁 (一部)

「無かったこと」には決してできないということ。今の思い、無念さは胸に刻んで忘れることは無いと感じています。今後は、ご遺族と十分に相談をしながら真摯に対応していきます。

私の考え

私は今回の一般質問を行うにあたり、市職員をはじめ多くの方々から情報提供を受けましたが、その内容をここで一切紹介しなかったことに対して、情報をくださった方々からすると物足りなさを感じておられるかもしれません。しかしながら、私がひとりの市職員の逝去と向き合うことは、まだ始まったばかりです。これからも徹底的に調査等を行ってまいりますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。



この一般質問後、ご遺族と市との協議を経て12月定例会の一般質問初日に、ひとりの市職員が勤務していた当時の様子や自死に至った原因等について調査するため、第三者調査委員会の設置が決定しました。

調査委員会の冒頭、市長は「市としても職員が亡くなったことを重く受け止めていて、職場で起こった事実確認と再発防止に全力を尽くしたい」と述べました。今回の調査委員会では、12月中に2回の会議を開催して独自の聞き取り調査等に取り組むことを決めましたが、調査委員会の委員長からは「調査に時間を長くかけるのはよくないということ、会議を密にやるということで委員の意見が一致した」との報告がありました。引き続きご遺族が求める丁寧で真摯な内部調査、および可能な限り早い調査報告を求めていきます。

12月定例議会:一般質問 逝去した市職員への対応について

発言趣旨

先の一般質問「ひとりの市職員の逝去について」では、市職員の自死の原因究明と再発防止を求めましたが、その一般質問の日にご遺族から市による詳細な内部調査と報告を求める「市職員の自死に至る原因と背景に対する内部調査ならびに再発防止に向けての取組の要望」が市長へ提出されました。その後、市長はじめ副市長や総務部とご遺族との面談が数回開催されましたので、今回の一般質問では、現在までの市の対応状況の確認に加え、今後の方針等について提言を行いました。

質問事項

市では職場のハラスメントに関するアンケート調査等を行っていますが、今後のハラスメント対策について、市長はどのように考えているのでしょうか。

市長の答弁 (一部)

市職員へのアンケートを通して、職場のハラスメントの実態を把握するとともに、ハラスメント防止に向けた意見、提案も伺っていますので、それらをしっかりと踏まえた上で、的確な対策を実施していきたいと考えています。

12月定例議会:一般質問 市役所の職場風土の改善について

発言趣旨

今回の一般質問では、ハラスメントを撲滅させる職場風土づくりはもとより、チャレンジの促進、ほめる職場、市職員の頑張りを評価する職場風土に加えて、市職員の可能性を伸ばす研修制度等、魅力的な職場風土づくりといった市の職場風土の改善に向けた提言を行いました。

質問事項

ひとりの市職員の逝去を受けて、市役所の職場風土を変えるリーダーである市長には、リーダーシップを発揮して、継続的な改革、改善をお願いしたいと考えています。このことについて、市長はどのように考えているのでしょうか。

市長の答弁 (一部)

市職員の死亡事案により、改めてメンタルヘルスケアや、より良い職場環境づくりに絶えず取り組んでいくことが大切であると痛感しています。今後しっかりとリーダーシップを発揮して継続的な改革、改善に取り組むことを約束します。

私の考え

市として職場風土をどのように改善していくのかについて、私も今後しっかり向き合っていく所存です。なぜなら、市の職場風土を改善することが、市の発展および住民福祉の増進に繋がると信じているからです。

これまでの一般質問を行うにあたり、市職員をはじめ多くの方々から情報提供を受けましたが、ご遺族は引き続き「職場でのわが子の様子」について、情報提供を求めておられますので、これからも皆さんの勇気を与えてくださいますようお願いいたします。



編集後記

ひとりの市職員が逝去されて、本日がちょうど半年目の月命日になります。私にとってこの半年間は、あっという間に過ぎたようで、とても長かったようにも感じています。そして、ひとりの市職員の逝去と向き合った半年間は、多くの方々から情報やご意見を頂戴した半年間でもありました。それは市民の方々はもとより、私のブログやYouTubeをご覧いただいた市外県外の方々からも同様ですが、頂戴したメールの中には「役所勤めのご家族の自死」という内容もありました。その文章の最後に「私たちには寄り添ってくれる人がいなかったら泣き寝入りをしてしまいましたが、もし、あなたみたいな人がいてくれたら戦えたと思います。だから私たちの分まで頑張ってください」という言葉もありました。この半年間、批判を受けることもありました。多くの方々の支えで頑張ることができました。これからも逝去された市職員とご遺族はじめ、今も苦しんでおられる方々に寄り添わせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。



豊田こういちレター Vol.20

2025年2月20日発行
発行責任：市民クラブ
編集責任者：豊田耕一

YouTubelにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、
豊田耕一オフィシャルサイトも
是非ご覧ください!

政策をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



豊田耕一 検索

子どもたちが、
故郷で健やかに
育っていくために!

敦賀市議会議員
豊田 耕一

〒914-0045
敦賀市古田刈66-803-2
inforu.toyoda@gmail.com

